

島本脩二 「本を作る」展

展

武蔵野美術大学のデザイン教育アーカイブ
島本脩二「本を作る」展 デザイナーと編集者の役割

会期 2019年10月14日(月・祝)～11月9日(土)

休館日 日曜・祝日、10月24日(木)、10月28日(月)

※10月14日(月・祝)、10月27日(火)、11月4日(月・振休)は特別開館日

開館時間 10時～18時(土曜日、特別開館日は17時閉館)

入館料 無料

主催 武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736

tel: 042-342-6003 <https://mauml.musabi.ac.jp/>

協力 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科研究室

デザイナーと編集者の役割

2019年10月14日(月・祝)→11月9日(土) 武蔵野美術大学美術館 展示室1 MAU M&L

島本脩二「本を作る」展

本展は、視覚伝達デザイン学科の授業「編集とデザイン」の紹介を通して、その講師を務めた編集者、島本脩二（一九四六）のデザイン教育の実践を紹介します。

『本』は著者と編集者、デザイナーの協働作業で作られます。島本は授業の中で、「印刷」や「紙」「製本」など、『本』を作る過程で欠かすことのできない編集者とデザイナー両者が関わる領域を扱いながら、それぞれの役割について伝えてきました。展示では、学生自らが著者、編集者、デザイナーとなり、十年後の自分を読者と想定して制作した課題書籍『二〇××年の私』約一八〇点を一堂に展覧し、島本のデザイン教育の成果をご紹介します。会場で実際に手にとつて閲覧いただくことで、美術大学で学ぶ彼らの日常と豊かな表現力、そして課題制作にかけた熱量を感じていただけることでしょう。

あわせて、五〇年以上にわたり島本が編集を手がけた『本』約一四〇点をご紹介します。ベストセラーとなつた『日本国憲法』（一九八一年）をはじめ、音楽グループ YELLOW MAGIC ORCHESTRA の写真集など、幅広い分野にわたる著者たちとの仕事の全貌を展覧します。島本が本学の授業で伝えてきた「デザイナーと編集者の役割」とは何か、島本自身の仕事と学生の作品を通して、その思想と実践に迫ります。

学生の授業課題書籍を並べて 2019年2月

関連イベント	鼎談（島本脩二×卒業生二名）
日時	10月19日(土) 17時～18時30分
出演	島本脩二、白井敬尚（司会、本学教授）
	保田卓也（06年度受講生）、園之原万葉（13年度受講生）
同時期開催	・スタシス・エイドリゲヴィチウス・イメージ——記憶の表象 ・武蔵野美術学校の誕生——金原省吾とその同志たち 10月14日(月祝)～11月9日(土)



- 交通アクセス
 - JR中央線「国分寺」駅北口徒歩3分
 - 「国分寺駅北入口」バス停より「武蔵野美術大学」行または「小平宮業所」行に乗車、「武蔵野美術大学正門」下車（バス所要時間：約20分）
 - JR中央線「立川」駅北口（5番乗り場）より「武蔵野美術大学」行に乗車、「武蔵野美術大学」下車（バス所要時間：約25分）
 - 西武国分寺線「鷹の台」駅下車徒歩約18分
- ※お車での来館はご遠慮ください

